

第2回 松山地域学校統合準備委員会

◎日時：令和6年7月17日（水）午後7時～

◎場所：松山公民館 ホール

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 報告事項

（1）総務部会・学校教育部会部会員選出状況について・・・資料1

4 協議事項

（1）統合校の校名について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

（2）松山地域小学校校章・校歌の比較・・・・・・・・・・資料3

5 その他

6 閉 会

松山地域学校統合準備委員会 委員名簿

No.	要綱区分	氏名	所属	役職	備考
1	1号委員	高橋章友	松山小学校	校長	
2	1号委員	曾根栄喜	下伊場野小学校	校長	
3	2号委員	佐々木健志	松山小学校PTA	会長	
4	2号委員	山口孝	下伊場野小学校PTA	会長	副委員長
5	3号委員	及川留太郎	松山小学校学校評議員	評議員	
6	3号委員	簡野寛義	下伊場野小学校学校評議員	評議員	
7	4号委員	今藤啓元	松山まちづくり協議会	監事	
8	4号委員	斉田久典	松山まちづくり協議会	監事	委員長

〔事務局〕

No.	所属及び役職	氏名
1	教育長	熊野充利
2	教育部長	伊藤文子
3	教育部参事兼教育総務課長兼学校教育環境整備推進室室長	平地久悦
4	教育部教育総務課課長補佐兼学校教育環境整備推進室室長補佐	菊池勝行
5	教育部教育総務課学校教育環境整備推進室 主幹兼係長	鈴木健
6	教育部教育総務課学校教育環境整備推進室 主事	加藤拓也
7	教育部教育総務課学校教育環境整備推進室 学校教育専門指導員	玉水透
8	松山総合支所地域振興課長	氷室貴文

令和6年度 松山地域総務部会 部会員名簿

No.	区分	氏名	所属	役職	備考
1	総務部会	白鳥 修	松山小学校	教頭	
2	総務部会	山谷 真子	松山小学校PTA	副会長	
3	総務部会	浅野 麻美	松山小学校PTA	副会長	
4	総務部会	菅原 真智子	下伊場野小学校	教頭	
5	総務部会	佐藤 雄大	下伊場野小学校PTA	副会長	
6	総務部会	高橋 靖識	下伊場野小学校PTA	監事	

令和6年度 松山地域学校教育部会 部会員名簿

No.	区分	氏名	所属	役職	備考
1	学校教育部会	高成 俊也	松山小学校	教諭（教務主任）	
2	学校教育部会	遠藤 寛樹	松山小学校	教諭（副教務主任）	
3	学校教育部会	阿部 紀子	松山小学校	主幹兼事務長	
4	学校教育部会	早坂 貴史	下伊場野小学校	教諭（教務主任）	
5	学校教育部会	高橋 慶吾	下伊場野小学校	教諭	
6	学校教育部会	千葉 理紗	下伊場野小学校	主事	

(2) 統合校の校名について

統合校の校名選定方法については、大きくわけて2つの方法があり、その中から、統合準備委員会で方向性を決めていきます。

1. 既存の学校名から選定
 - 松山小学校，下伊場野小学校のいずれかの名称を使用
 - ①準備委員会で協議し決定
 - ②児童及び地域住民を対象にアンケートを実施し，その集計により決定
2. 校名募集のアンケートを実施し，その結果を参考に協議・決定
 - ①対象を児童及び地域住民とし募集
 - ②対象を市内全域とし募集
 - ③対象を広く全国に募集

※上記1・2の方法があるが，前回会議で提言のありました下伊場野地区の児童・保護者・地区住民の思いを優先し，校名について先行して意向を確認すべきについてもご協議いただきたい。

【参考】

古川西部地区（R3 アンケート実施，R5 開校）

No.	一般		小学生		中学生	
	校名	応募数	校名	応募数	校名	応募数
1	古川西	3	古川西	42	古川西	15
2	高志東西	2	西古川	24	西古川	3
3	西	2	西（にし）	10	古川西部	2
4	大崎明西	1	桜（さくら）	9	古川西小中一貫校	2
5	西桜	1	東大崎	6	色遇小中一貫	1
6	西春	1	西大崎	5	東高志西	1
7	ひだまり	1	古川西部	4	西中学区統一	1
8	古川青稻	1	志田大崎	4	西古川統一	1
9	古川稲波学園古川西	1	川崎	4	古川西青空ひまわり	1
10	古川西部さくら	1	四つ葉（四葉）	4	古川西小中一貫	1

鳴子温泉地域（R5 アンケート実施，R7 開校予定）

No.	一般		小学生		中学生	
	校名	応募数	校名	応募数	校名	応募数
1	鳴子	4	鳴子	61	鳴子	55
2	鳴子温泉	2	鳴子温泉	12	鳴子学園	1
3	鳴子温泉郷	2	さくら	4	新鳴子	1
4	鳴子きずな	1	川渡	3	こけし	1
5	鳴子学びの森	1	川渡温泉	3	大崎	1
6	鳴子温泉みちのく	1	鳴子自然	2	鳴渡鬼	1
7	いで湯の里	1	鳴子総合	1	鳴子育英	1
8	湯華学園	1	小中鳴子	1	青葉	1
9	花淵山	1	荒雄学園鳴子	1	鳴子三区	1
10	こけしの子	1	新鳴子	1	花淵	1

あた がっこう かんが
新しい学校のなまえを考えてみませんか？

れいわ ねん がつ まつやまちいき まつやましようがっこう しもいばのしようがっこう
○令和8年4月に松山地域の松山小学校，下伊場野小学校
がひとつになり，新しい小学校になる予定です。

あた しようがっこう ふさわしい学校 がっこう かんが
○新しい小学校にふさわしい学校のなまえをみんなで考えて
てください。



(ふりがな)	()
新しい学校のなまえ	_____ 小学校
そのなまえが よいと思うわけ	
ふりがな	おとこ おんな 男 ・ 女
なまえ	がくねん 年生
じぶん 自分の小学校を ○でかこんでしてください	松山小学校 ・ 下伊場野小学校

統合校の校名を募集します

令和8年4月に松山地域の松山小学校・下伊場野小学校がひとつになり、新しい小学校として開校する予定です。

新しい小学校は松山地域の繋がりをさらに深め、地域を愛し、地域を誇りに思う子どもたちを育ててまいります。

そこで、統合校にふさわしい校名を地域の皆様から募集いたします。

募 集 要 項（詳細は裏面参照）	
応募期間	令和6年9月2日(月)～9月30日(月) 必着
応募資格	松山地域在住の方【※1人につき1枚の応募になります】
応募方法	① 応募箱への投函 ② 郵送 ③ 電子メール ④ FAX
問い合わせ先 (応募先)	〒989-6188 大崎市古川七日町1番1号 大崎市教育委員会 教育総務課 学校教育環境整備推進室 TEL:0229-23-2211 FAX:0229-23-1011 メールアドレス:ed-soumu@city.osaki.miyagi.jp

----- キリトリ線 -----

応 募 用 紙

【①～⑤まで記入し、切り取って応募用紙のみ投函してください】

①	(ふりがな) 氏 名	()
②	該当する年齢区分に○を付けてください。	10代・20代・30代・40代・50代・60代以上
③	現在、お住まいの小学校区に○を付けてください。	松山小学校区 ・ 下伊場野小学校区
④	(ふりがな) 統合校の名前	() _____ 小学校
⑤	その校名がよいと思う理由をお書きください	

応募要項の詳細は裏面になります。

<p>応募詳細</p>	<p>①応募箱への投函 ・松山総合支所・松山公民館・<u>下伊場野小学校</u>に応募箱及び応募用紙を設置しています。 ※平日の9時～17時に投函してください。</p> <p>②郵送(令和6年9月30日必着) ・応募用紙は市ウェブサイトからも出力できます。</p> <p>③電子メール(標題を「校名応募」としてください。) メールアドレス:ed-soumu@city.osaki.miyagi.jp</p> <p>④FAX FAX:0229-23-1011</p> <p>※応募用紙以外でも、氏名・年齢区分・現在お住まいの小学校区・統合校の名前・その校名にした理由を記入したものであれば、応募できます。(例)ハガキなど ※応募用紙をコピーして使用しても構いません。</p>
<p>決定方法</p>	<p>応募していただいた校名を参考に、学校統合準備委員会で検討を行い、校名候補を決定します。その後、教育委員会の決定、市議会の議決を経て、正式に校名が決定します。</p> <p>【※応募数の多い名前を校名案として決定するものではありません。】</p>
<p>その他</p>	<p>・個人情報については、この目的以外には使用しません。</p>

下伊場野地区の高齢のかたが応募しやすいように

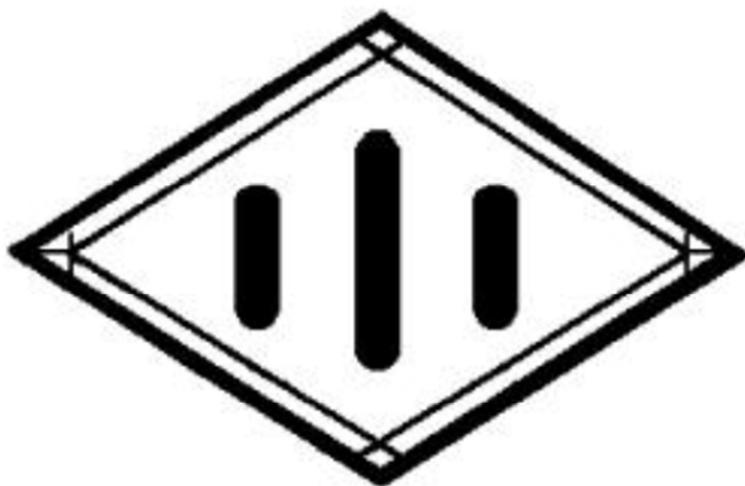
◆学校統合に関する情報は下記のページに掲載しています。

大崎市ウェブサイト「学校統合に関する情報」



松山地域小学校校章・校歌の比較

◆松山小学校校章



【大正3年制定】 定紋重剣菱

◆下伊場野小学校校章



【平成3年10月23日制定】

平成3年9月、「歴史と伝統を受け継ぎ、さらに新しいものを創造する」「校名をよく表現している」「望ましい子ども像をよく表現している」という三基準をもとに公募し、22点の応募作品の中から厳正かつ慎重な審査を行い、千葉剛氏（当時本校職員H11. 3. 31 転出）の作品を校章のデザインとして採用。

伊場野小学校が築いてきた輝かしい歴史と伝統をもとに、下伊場野小学校の「下」「伊」「小」をデザイン化すると共に、周りには校木である松を「知力」「気力」「体力」の三つのまとまりとして設置し、児童が健やかにたくましく成長してほしいという願いが込められている。

◆松山小学校校歌

松山小学校校歌
 作詞 土井 晚翠
 作曲 片山 穎太郎

一 大崎耕土 東南の
 隅に位し 万頃の
 ゆたかの実 見るところ
 わが松山の うましさと
 里は学舎 あるところ

二 三百余年 古の
 荒地を拓き この里の
 基をすえし よき人の
 そのすえ建てし 学びの舎
 大成館の 名は昔

三 所をかえて いや栄ゆ
 わが学びの舎 松山の
 名をこそおえれ ここにして
 教えの道を たどりこし
 紅顔の子ら いく千か

四 誓言の教え 高き山
 長き流れを 眺めつつ
 新たな御代の あらたなる
 希望の光 ゆたけくも
 日々向上の 道てらす

松山小学校校歌の意味
 大崎平野の東南の方に
 そのはずれに広々とした
 たくさんの農作物が実るところがあります
 私たち松山の美しく満ち足りた町があります
 その里にすばらしい学校があります
 三百年以上も前から
 人々は荒地を切り拓いて
 生活をするための町を作ってきました
 その人たちが造った学校があります
 その学校の名前を「大成館」といいました
 大成館のあった場所はその後 変わりましたが
 志は大きくなって私たちの松山小学校になりました
 歴史のある立派な名前を今も受け継いで
 真理を探しながら学んでいる
 若い生き生きとした子どもたちがたくさんいます
 昔から何も云わないでそびえ立っていた山々は
 鳴瀬川の長く豊かな流れを見守っています
 その豊かな自然の中で新しい時代を迎えるたび
 希望の光が盛んになり
 毎日毎日伸びようとする私たちの未来を照らします

◆下伊場野小学校校歌

下伊場野小学校校歌
 作詞 菊地 新
 作曲 曾我 道雄

一 山脈青く 雲映えて
 風がかがやく 朝の空
 もえる希望の 胸はつて
 学ぼう ラランララ 元氣よく
 花も 若葉も 光つてる

二 鳴瀬の流れ ひとすじに
 遙か地平を とぶ翼
 遠い未来に あこがれて
 進もう ラランララ たくましく
 明日の世界が 呼んでいる

三 コスモスの花 うつくしく
 松はみどりの ふるさとに
 はぐくむ命 たゆみなく
 磨こう ラランララ 真心を
 星がきらめく わが母校